

for adults
R18
only

UNIZO UNIKURA

ZERONOTUKAIMA

LOVEPOTION

PINK

ラブポーションピンク



今日は、うに蔵です。今回はゼロ魔本です。
アニメでさくっとルイズさんの可愛さにやられて
しまいました、ツンデレって本当に最高です！
アニメから入ったので、一応原作も読んでおこうと
小説の方も買ったりしたのですが、どうも最近
活字になれていないせいかまだ読破出来ていません
です…。昔は良く読んでいたんですけどね、ラノベ。
そういえばもっぱら富士見派で他社のを買ったの
初めてかも。

今回は初のオールカラー本です！
夏は本文カラーやったんですが、方向性を掴めず
撃沈。今回は大人しくペインター塗りに戻しました、
思えばあの夏は何をフォトショに必死になっていた
んだろう…。リベンジのごとく挑戦したのですが、
いやもう、死にかけました。覚悟はしていたけど。
とりあえず見れる最低ラインは死守出来たと思うの
ですが、反省すべき点がでんご盛りです。
やっぱり塗りが単調すぎるかなーとか、思っちゃっ
たりするわけですよ。ノーマル塗りばかりで見て
いて疲れちゃうみたい。背景ないし（しくしく）。
もうちょっとエフェクトとか、カラーのバリエとか
増やしたいですね。あとは計画性とだらけない精神
力を養いたいです（笑）

スペースが余ってるんでコメントでも

表紙 媚薬を持ってるルイズさんです、ツンデレさを
余す事無く表現してみた。つもり！

2P ルイズさんカラー習作、冬のイベントカットにも
使いました。これくらい口リの方が受けがいいのかな
あ難しいです。

3P 4P！キュルケさんは巨乳なので大変描きやすいで
す。キュルケもっと描いておけばよかったかなあ。

4P サイトを誘っちゃうルイズさん。

5P シエスタさんは好きなんだけど、特徴が掴みにく
くて描きにくいです…アンリエッタと特徴似てるから
描き分けが難しい…。

6-7P 漫画もとき佳境、ここに限らず細かい事は気
にしないで下さい…。

8P モンモンの巻き毛は描くのが楽しかったんです
が、ギーシュ…こいつは二枚目なのか三枚目なのか
原作見てもアニメ見ても未だに判断が付かなくて…
とりあえず二枚目にしたんですが…。

9P 鎧描くのが大変でした。

10-11P 差分を描いてみたかったので…で、手抜き
なんかじゃないんだからねっ勘違いしないで！

12P 竜を描くのも鎧と同じく久々で楽しかったで
す、タバサは系統的に描くのが苦手な部類かなとか思
っていたんですが、描いてみたら案外苦もなく描けた。
このPは比較的気に入ってます。

13P ウルドとにゃんにゃん。

14P メイドさーん！細かい所は都合良く改編。

裏表紙 ミニキャラです、ルイズの顔がデカくなって
しまいました…。

それでは今回はこの辺で！

次回の本は暖かくなった頃に出てる？かな？

うにくら





「遅かったじゃない…」
サイトは部屋に戻った瞬間、その空気がいつもものものとチカウという事を感じた。声のした方へ視線をやると、ベッドの上で足を組み、腕を両肘の上に乗せた褐色の瞳の少女の視線と交わった。
ご主人様は相当と機嫌なめめのご様子である。「久しぶりにちやんとした風呂に入っただけから長風呂しちゃってさー」
「そりや気持ち良かったでしようね」
ルイズの台詞が刺々しい……
「まさかシエスタと風呂に入ってる所を見られたのか？ いやまさか……」
様々な思いを巡らせ硬直しているサイトに、唐突にルイズが飛びかかってきた。
「サイトの馬鹿、バカ、バカ……どうして私を差し置いてあんなことしちゃうのよ！」
「やはり見られていた、シエスタとの外風呂での情事を……」
瞬間、サイトは死を覚悟した。ひと思いに死ねれば幸せな方だろうか……この御主人様は使い魔に容赦ない。
「私と同じ事をなさい！」
「……………」
「……………」

何の冗談かと、サイトは理解するのにしばしの時間を要した。
そうこうしているうちにルイズはシャツの前を開けさせ、形の良い胸を露にする。
そしてサイトの腕を掴み、自分の方へ寄せ、「へっ？」
「わ、私の胸だって柔らかくて温かくて気持ちいいんだからっ！」
ルイズは顔を真っ赤にさせてそう言った。
そもそもルイズが何故こんなに乱れてしまっているかと言うと、サイトとシエスタの情事を見て頭に血がのぼりなんだが喉が渴いたなと思っっている所に、偶然中庭で月を見ながら茶会をしていたモンモランシーとギーシュに出くわした。
そしてそこで彼等が飲んでいた飲み物を横取りして飲んだのが原因だ。
ルイズが飲んだソレには媚薬が入っており……この有り様という訳である。
イチゴの様に顔をほてらせたルイズは尚も続けてこう言った。
「サイト！ ご主人様にご奉仕しなさい！」
「サイトはもうなだれた、元はと言えば先ほどの出来事が原因だ……」

サイトさん国のお風呂ですか？
素敵ですね！私も入りたいなあ

シエスタも入る？

なんて…冗談半分のつもりだったのに
シエスタは恥じらいも無く。給仕用の
メイド服をその場で脱いだ…。

でも、さっきから
私の胸ばかり見てませんか？
もし触りたいんでしたら
触って頂いても構いませんよ
村娘の貧相な体などお気に召すか
どうかは分かりませんが…

えっ、ちょ
シエスタまずいよ！
もし誰か来たら…

ふふっ大丈夫ですよ
それよりサイトさんって
意外と恥ずかしがり屋さん
なんですね

そんな…シエスタの胸
おっきくて柔らかくて
黒がくて最高だよ…

こっちの方も柔らかくて温かくて
最高ですよ♥サイトさん

そしてシエスタのお言葉に甘えて
五右衛門風呂の中でしっぽり
致してしまった…。

ちよっ…
イキナリ入れるつもりっ？

もうっ
ホント駄目ね！
お話しに
ならないわ！

えっ…あ
ハイ…

ふわっ！

ヤ
ニッ

まずは私がサイトを
気持ち良くしてあげるのっ
御主人様が犬にご奉仕なんて
普通は無い事なんだからねっ
感謝しなさい！

こういうのは順序が
大切なのっ！
乙女心を分かって
ないんだから！

いいこと？
気持ち良くしてくんなきゃ

ちよっ

ちよっ

ちよっ

ちよっ

許さないんだからっ！
あ…あと痛くしたらご飯
抜きなんだからねっ！



あっ…
サイトっ

もっと！
もっと奥まで突き上げてっ
そんなんじやおまんこ
気持ち良くないのお！

サイトのちんぽが中で
大きくなってミルク
いっぱい入ってくるよお！

中がきゆうってするの！
やればできるじゃない！
できるじゃないっ！



「ボクの気を惹こうと媚薬を飲ませようとするなんて…そんな事をしなくとも僕は君しか見えないというのに…」
相変わらずの調子で、歯の浮くような台詞を耳元で囁いた。
よくもまあ、ぼんぼんとこんな言葉が口から出るものだ。いつもの事ながらモンモランシーは呆れて溜息を一つ、ついた。
どうせこんな台詞、他の女にもいつてに決まっているのだ。
「ごめんね、君がそんなに僕にジェラシーを感じてくれているなんて気付かなかった」
少し嬉しそうに、調子のいい声色が胸に降る。
「ちょ…勘違いしないで！別にそんなんじや…」
ギーシュはモンモランシーを後ろからそっと抱きしめる。
「今晚は僕を独り占めして構わないよ、僕も君をそうするから」
歪の生糸で纏られたタイツは二番のお気に入りだったのに、今は見るも無惨な姿。後でギーシュに新しいものを買わせよう、モンモランシーは心に誓った。
「急にしおらしくなったね」
ギーシュは指で彼女の秘所を蹂躪しながら、首筋に唇を合わせた。
「あつ、嫌…そんなに指を動かさないでギーシュっ」
モンモランシーの言葉を聞き入れるそぶりも見せず、彼女の胸の膨らみにもう片方の手の指を這わせながら、ギーシュは尚も彼女の温もりを楽しむのであった。



サイト！
昨日は全然気持ち良く
無かったわよ！

御主人様一人満足させられないなんて
アンタは犬以下よ！悔しかったら
今日もご奉仕する事！いいわね！



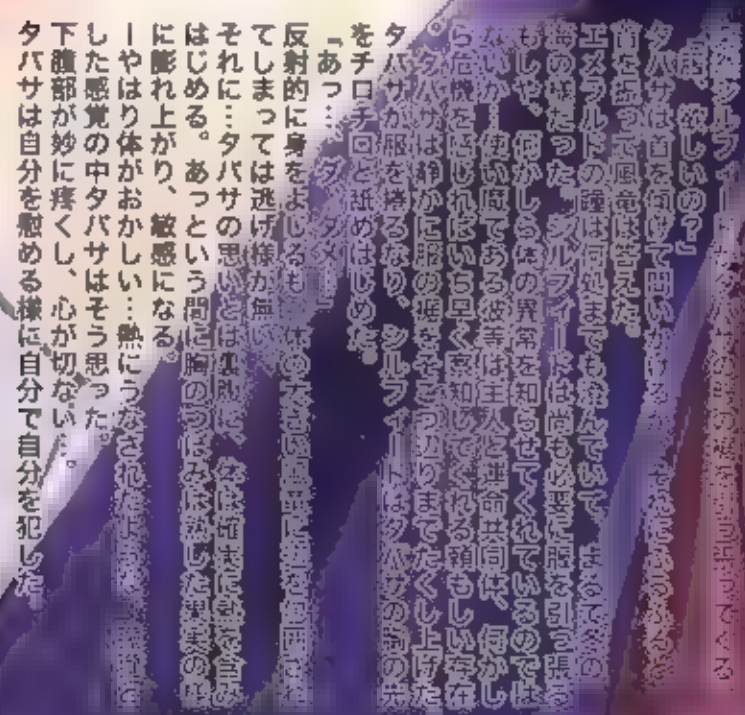
きゃっ！もう出しちゃったの？
サイト：早漏過ぎるわ！御主人様が
良くなる前に出しちゃうなんて
最低よ！

今日は特別に私が調教してあげる！
しっかり覚えるのよ！
覚えないと許さないんだからね！

シッ...

10
4
2

10
4
2



いいじゃないかルイズ
約束された間柄なのだし

あゝワルド
そんなに強く触っちゃ
だめえ…

ワルドのおちんぼ
みるくで汚れてるから
綺麗にしてあげるっ

でも何でだろ…なめてもなめても
みるくが出てきちゃう…

ワルドのお腹がいっぱいだよお
なかでビクビクしてる…



LOVE POTION PINK

発行 うに蔵UNIZO / うに蔵UNIKURA
発行日 20061231

印刷 関西美術印刷

MAIL lovekan@neptune.livedoor.com
BLOG <http://yaplog.jp/unizou/>





ユニゾ・ユニクラ・ゼロノツカイマ

UNIZO UNIKURA ZERONOTUKAIMA FAN BOOK